

に於ける内容の見直しを行つた必要が生じたことから緊急的に一部改訂を行う。その他については引き続き前方針の内容を踏襲する。

今回の改訂では、熊本地震で電柱の倒壊により緊急輸送車両が通行できない状況になったことから道路の無電柱化や国土強靱化の観点から踏まえた代替路の確保などを追記。

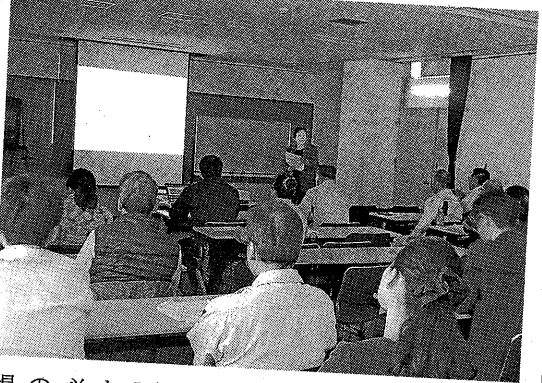
また熊本地震の特徴的被害である液化や大規模盛土造成地滑動崩落など災害リスクを踏まえた土地利用の重要性、熊本地震の2カ月後に発生した豪雨災害など複合被害への備え、グランメッセ等の防災拠点施設・耐震化なども盛り込んだ。

「J」と契約 庁舎建設基本設計

大 画事務所を優先交渉権者に特定。同事務所が、市計画が選定したその他の構成要員候補4者のうち、1者とJVを結成して、契約を締結することとしている。契約日は1月30日。同事務所の提案内容によると、新庁舎棟と倉庫棟で構成。新庁舎棟の階数は6階建てで、延床面積は1万5900㎡。構造はハイブリッドRC構造を採用する。

倉庫棟の階数は、3階建てで、1階は公用車用駐車場、2階は書庫、3階は倉庫となる。構造はS造、延床面積は1400㎡。基本設計の履行期限は31年9月30日。実施設計は基本設計完了後、基本設計受託者と随意契約を結ぶ予定。建設場所は玖島1丁目25番地外。

「仕事と生活の調和」等で研修会 21・建設クラブ・福岡



社会貢献団体・建設業異業種会(一社)21・建設クラブ・福岡(大鶴耕司理事長)は6日、福岡市の福岡市立南市民センターにおいて①第38回救急救命講習会②第11回男女共同参画研修会③第2回ワーク・ライフ・バランス研修会を開催、会員のスキルアップを図った。

①救急救命講習会(福岡市消防局による普通救命講習I)では、会員ら32人が参加。成人に対する心肺蘇生法(胸骨圧迫・人工呼吸)やAEDの使用法、止血方法などが説明された後、参加者は実際に人が倒れている状況を設定し、ゲーム人形を使って胸骨圧迫やAEDの使用等を一人一人が実践。いざという時の正しい応急手当方法を習得した。

続いて、②男女共同参画研修会(同和講習・福岡県地域貢献22番)は、会員ら38人が受講。男女共同参画センターあすばる元館長・元柘木町長の中嶋玲子氏が男女共同参画への誤った認識や偏見などを解きながら、その必要性やこれまでの日本の社会における家庭や職場での実態などを紹介。男性と女性がお互いを支え合い、認め合い、一人一人が尊重し合う関係の構築を呼びかけた。

また、③ワーク・ライフ・バランス研修会Ⅱ写真Ⅰでは、中嶋氏を講師に、女性活躍推進とワーク・ライフ・バランス(仕事と私生活を共存させながら、個人が持っている力を発揮し、おのおの望む人生を送っていくこと)について考える必要性を説明したほか、女性の建設業界入職にまつての壁などを紹介し、企業価値を高め、魅力的な企業へのアドバイスを送った。

閉会の辞で、宮本俊晴副理事長は「今日は人によつては九一日の参加に感謝申し上げる。今日学んだことを明日からの業務や私生活でも役立てて欲しい。当会は皆さんの意見を反映し発展していきたいと考えている。今後も改善点などがあれば、どんどん意見して頂き、より良い会、魅力ある会にしていくので協力をお願いする」と述べた。

▼直方教職員住宅解体(第一工区)(直方市感田)(予定価格四三、二六〇、〇〇〇円)丸彦産業 三八、九三四

▼県道畦町村山田線(木ノ下橋)取付護岸(宗像市村山田)永津建設 三、六六〇

▼国道三二二号香春大任バイパス防護柵設置(二工区)(香春町中津原)高陽産業 三、四七〇

▼国道三二二号香春大任

円滑な施工 補正で工事量

今年度第2次補正予算、31年度当初予算で工事量の増加が見込まれることを踏まえ、九州地方整備局は、各県建設業協会との意見交換会を2月14日の大分県からスタートする予定で、不調・不況を出不さない円滑な発注に向けた方策等を協議するものとみられる。

総額約7兆円に上る防災・減災、国土強靱化のため3カ年緊急対策が取りまとめられ、これから

九州地整 各県建協 補正で工事量

▼国道三二二号香春大任
▼県道三二二号香春大任
▼国道三二二号香春大任